

梅窓院通信

No.110
2021/01/01

青山



お正月は山門に門松を飾っています。

住職挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年も梅窓院をよろしくお願い申し上げます。

さて、新年にあたりまして、新旧交代のお知らせがあります。

患患ではありませんが、私の長男の中島真紹しんしゅうがこの度、梅窓院の副住職に就任致しました。最近はこの『青山』でも署名入りで原稿を書いていきますので、中島という姓をご覧になれば、「住職の息子さんかしら」と思われた方もいらっしゃるかと思います。皆様、どうぞご指導のほど、よろしくお願い致します。

これに伴い、今まで副住職でありました藁谷真敬上人には、長老という肩書で引き続き梅窓院の隔々に目を配って頂くことになりました。

藁谷上人は先々代の中島真孝住職のもとで学生時代を過ごし薫陶を受け、先代の中島真哉上人の良き相談相手となり、さらに住職である私も力添えを頂いて参りました。まさに梅窓院中島三代を見守ってこられた上人です。本誌で私と対談をしたのが、もう十年前になりますでしょうか。最近の皆様の前に姿を現わされることは少なくなりましたが、今もお元気で法務部のリーダーとして活躍されています。

話は変わり、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせです。昨年三月から始めた感染防止の対応、対策。大要のライブ配信、各種行事や仏教講座の中止など、皆様との距離を遠くせざるを得ないことは残念でなりません。そして、この手に負えない新型コロナウイルスの影響は今後もしばらくは続くことでしょう。当院では、公的機関による「終息宣言」を目処に行事を再開し、檀信徒の皆様にご参列頂けるようにしたいと思っております。それがいつになるかはまだ見通せませんが、一日も早い終息を願うのは世界の人々の共通の願いに違いありません。皆様と梅窓院の境内でお会いできる日を楽しみにしております。



梅窓院第二十五世 中島真成

新年のめでたさ

新宿区 香蓮寺住職

勝崎裕彦

新しい年を迎えて初春を心から寿ぎ、「あけましておめでとうございませう」と年賀の挨拶をする。のどやかにめでたい今朝の春は、まさに四方の春であり、まことに千代の春である。

年が明けて、年が改まったこの正月元旦を、ともかくおだやかに迎えることができたよるこびははかりしれないものである。最愛の家族とともに、まずは素直

初日を拝する心を羽村野石の一句からいただき、その光り輝きを手の平に受けた中野三允の句に心を留めた。三允は明治十二年生まれで、大学在学中から子規に学び、薬剤師として薬局を営んだ人でもある。

松風や井に立ちて聞く四方の春 (梓月)

元日やゆくへもしれぬ風の音 (水巴)

物めぐみに心から感謝し、過ぎ来し方以来のもろもろの縁、また各方各処のいろいろなめぐり合わせのありがたさから感謝して、今ここに現にある自分自身をしつかりと確かめるのである。

あたら 新しき年・あたらしき年、新玉の年・改まる年、迎える年はまさに新年・初年である。私はこの一年、おそらくは喜怒哀楽さまざまに、悲喜こもごもの月日を過ごすことであろうが、思い切つて、「天下とともにたのしみ、天下とともにかなしむ」と大言して、一步一步前向きに明るく歩んで行きたい。

まずは新年初春の年賀俳句・謹賀俳句を鑑賞して、年の始めの祝賀気分をこころとからだいっぱい慶賀することから出発したい。

大いなる日の昇り来し今年かな (野石)

手の平に初日の恵み満ち足りぬ (三允)

信州は雪の多いところで、雪道に土を目にする小さなおどろきを愛でたものであるが、私は、その道端の小さな土塊に正月のめでたさ、ありがたさを強く深く

道ばたの土めづらしやお正月 (一茶)

わが春やたどん一つに小菜一把 (一茶)

感じたい。それは、炭団一つ、葉つ葉一把についても言えることである。

歳旦の目出度きものは念仏かな (句仏)

みほとけの母を呼びをり年明け (八束)

さて仏教句である。東本願寺第二十三世法主大谷光演こと句仏は、虚子や碧梧桐と深く交わり、すぐれた佳句を多く遺したのである。また石原八束は蛇笏門下で、「雲母」同人として龍太・八束時代を築いた人である。

最後に、私の大好きな二句を記したい。

念仏と豆腐たふとし老の春 (支考)

初春や炬燵の上の小釜 (重厚)

各務支考は焦門美濃派を率いた人。また井上重厚は、蝶夢和尚門下の僧侶で、義仲寺住職、無名庵主となり、京都を中に活躍した。

さて新年元旦、コロナ禍のむずかしい状況にあつて、きびしい今年一年の新たなスタートである。なにかと困難・困却・困惑することが多く、ひたすら我慢・忍耐しなければならぬが、この難局を乗り切るべく、乗り越えるべく、一日一日を大切にいとしみながら、ともかく生き生かされたい。(大正大学名誉教授)

秋彼岸会法要 9月22日(火)



本堂の扉を開放しての十夜法要。



リアルタイムでYouTube配信。

十夜法要 11月21日(土)



修正会

しゅししょうえ

2021年1月1日(金)

修正会法要

午前10時～ 2階 本堂

※お雑煮の振る舞いは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止と致します。

※修正会法要は梅窓院僧侶のみで厳修致します。
なお、寺院内マスク着用の方に限りお焼香のみ可能ですが、ご参列・ご着席は頂けませんのでご注意ください。
また、法要の様子をライブ配信予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.baisouin.or.jp/>



梅窓院
ホームページの
QRコード

修正会 とは

新年最初の法要のことで、一年の安寧などを祈願します。
修正会の歴史は古く、平安時代前から国家鎮護として行われていますが、コロナ禍中で迎える令和3年の新年の祈願は一層心を込めたものになるでしょう。

修正会によせて

まもなく新年を迎えますがいかががお過ごしでしょうか。

来年の事を言えば鬼が笑うといいますがね。鬼と言えば昨年「大ブーム」になった漫画の『鬼滅の刃』はご存知でしょうか。鬼になった妹を人間に戻すため、少年が鬼退治するというストーリーの少年漫画ですが、浄土宗や浄土真宗の寺院のご法要で読誦される『阿弥陀経』が登場すると二部で話題になりました。作中に仏教的な要素が散りばめられていることから、作者の仏教への関心が伺えます。

ところで、仏教の鬼とはどんな意味があるのでしょうか。インドの神様を広く鬼神といい、羅刹、夜叉、鬼子母神、阿修羅など、元々怪物のようでも仏教に帰依し仏教の守護神となったものが多くあります。一方、人に害を及ぼす悪鬼の側面として、地獄の鬼や餓鬼道の亡者などがあります。

また、仏教ではこの世での悩み苦しみの原因が悪鬼によるものという考えがあります。法然上人はご法語で、お念仏のこの世でのご利益について、お念仏の行者は阿弥陀様をはじめ沢山の仏様や神様がそういった人を悩ませる悪鬼を寄せ付けずに下さると仰せです。ただし、心行正しき行者、つまり人を軽んじず謙虚な心と行いを備えた行者に限ると仰っています。ようするに浄土宗という鬼退治とは謙虚な心を持つことといえましょう。私達がその心を忘れないければ鬼の方から逃げていくものです。

元且には修正会法要がございます。インターネットで生中継致しますので、本年も心行正しい一年になるようお願いを込めて、ご一緒にお念仏をお称え頂ければ幸いです。 (法務部 中島貞紹)

絵馬について

新年のお参りに来て頂いた方にお配りしている絵馬は、元旦のみ1軒に1体のお渡しとさせて頂いております。
2体以上ご希望の方は事前に文書(FAXかハガキ)でお申し付け下さい。2体目から1体千円でお譲り致します。

曆について

各檀家さまに1部同封させて頂きました。2部以上ご希望の方はこちらも文書(FAXかハガキ)にてお申込み下さい。
2部目から1部千円でお譲り致します。

絵馬の歴史

奈良時代、神仏に五穀豊穡や鎮護国家をお願いする時は、神様がこの世に降りてくる際の乗り物であった馬（白い馬で神馬）を奉納して祈っていました。ですが、実際に生きた馬を納めるのは、する方（豪族など）もされる方（神社仏閣）も大変でしたから、平安時代には木や紙、あるいは土で作った馬を献納するようになりました。それが現在の絵馬の始まりです。

江戸時代になると庶民が家内安全や商売繁盛など身近な願いを書くようになり、馬とは関係ない神社独自の絵馬

特集

夢を込めて

願いを

に
しましう



絵馬の仕上げは年末の魂入れ

絵馬回向

年末になると、梅窓院の僧侶が観音堂に参集して、この絵馬に魂入れの法要を行います。梅窓院の観音様は泰平観音。渡来僧、鑑真様が中国から招来された尊い観音菩薩様です。いかなる人をも救い取り、一人も漏らさず、という観音菩薩。皆様の手元に御縁を結ばれた絵馬が、本年のご多幸へ導いて下さるよう、心を込めて祈願させて頂いております。

一連の流れ

書く

頂く

授かった絵馬の裏に名前と願い事を書きます。

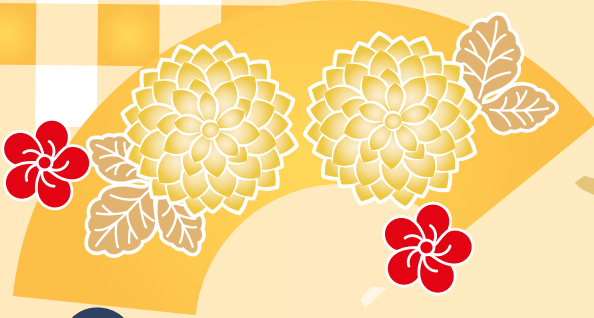
元旦のみ受付・線香販売のテントで絵馬をお渡ししています。
※絵馬はなくなり次第、配布終了となります。予めご了承ください。



が制作されるようになりまし
た。神仏の像をはじめ、祭りの
情景、社寺への参詣の絵、武者
の姿から、武道や数学の上達を
願った絵なども描かれるようにな
り、人々がなにを祈願してい
たかが窺うかがわれます。

現在、マスコミに取り上げられ
る機会が多いのは、なんといつて
も、受験シーズンを迎える年明
けの頃。合格を願う大量の絵
馬かもしれない。学問の神
馬、菅原道真をお祀りする天
満宮はもちろん、全国のお寺と
神社は、絵馬に書き込む受験
生でいっぱいになります。

梅窓院では先代住職の時
代から絵馬をお正月に配布す
るようになりました。毎年この
絵馬を楽しみにされているお檀
家様も沢山いらつしゃいます。



こそこそ裏話

絵馬の木材は卒塔婆をお願いしている関
根源右衛門商店が出荷している白松の木
を使用しています。

関根源右衛門商店の関根代表取締役には以前、春彼岸号で取材にご協力頂いた
とても親しい間柄。卒塔婆だけでなく絵馬
の木材もお願いしているのは、ご縁を大切
にする梅窓院だからこそです。

梅窓院オリジナルの干支の絵馬が勢揃い



叶えたい夢

絵馬に

新年
絵馬祈願を

令和三年のお知らせ

令和三年の絵馬はお宝の山車をひく、
可愛い白牛さんです。元旦に参拝された
方に受付・線香販売のテントにて、一軒
につき一体お渡しをさせていただきます。
一年の始まりであるお正月はご先祖様へ
のご挨拶も兼ねて、ぜひ梅窓院へお越し
下さい。

※二体目からは要予約で一体千円です。
詳しくは三面をご参照下さい。



お焚き
上げ

一年過ぎたら梅窓
院へお持ち下さい。
当院の絵馬に限り
無料で浄梵供養さ
せて頂きます。

飾
る

ご自宅の目線より
少し高いところに飾
りましょう。

青山
梅窓院

◆本日はよろしくお願ひ致します。

いいえ、わざわざ目黒まで

お越し頂きありがとうございます。

◆まずは、梅窓院とのご縁からお聞かせ下さい。

今の新本堂落慶の時からのお付き合いになります。私が所属しているロータリークラブでご住職を紹介され、その人柄にひかれてお寺に伺ってみると、立派な建物に広い墓地でした。ありがたいことにご縁を頂き、お付き合いを始めさせて頂きました。

◆そうですか、16年前になるのですね。梅窓院では花君さんの花を受付に用意させて頂いていますね。

はい、お寺で花を使われるのは、葬儀とお墓参りです。中でもお墓参りは、両彼岸はもとより、一年を通していらっしゃいます。そうした参拝の皆様にもいつでも新鮮で綺麗な花をお供えしてもらおうと、特注の冷蔵庫を誂え寄贈させて頂きました。受付に入って左側に置かれています。

◆立派な冷蔵庫だと思っていたのですが、特注品だったのですね。

末長いお付き合いをお願いしたいという想いを込めました。お陰様でこうして良いご縁を続けさせて頂いています。

◆こちらこそ、ところで花はどこから仕入れているのですか。

大田市場という大井埠頭にある市場からです。東京都中央卸売市場のひとつです。

◆移転で話題となった築地や豊洲と同じ卸売市場ということですか。

はい。仕入れは基本的には実際にせりのたつ、月・水・金曜日に市場に足を運び買い求めるのですが、「前どり」といってせりの前に買い付けたり、ネット上で買い求めたりと、色々な方法があります。

◆なるほど。花は国産が多いのですか。

国産の他に海外からもたくさん入ってきます。コロンビア・中国・インドネシア・マレーシアなど。ですが、今はコロナで飛行機が減便され、しかも物資を輸送するにも食料優先なので、花は残念ながら高値安定です。

◆コロナの影響は大きいですか。

はい。当社は本社が大森、営業所がここ目黒と白金(八芳園内)なのですが、結婚式場の八芳園では9割減となりました。

◆そうですか。

とはいえ、コロナの影響で贈り物のギフトフラワーの需要は増えています。倍増ですね。



目黒営業所店内の花々に囲まれての中島住職と 取締役。

◆直接会えないので、花を贈る方が増えているということですね。

最後にお好きな花を伺ってもよいですか。

そうですね、花屋さんなのでどの花も好きです(笑)。今はハウスを始め各種栽培方法が工夫され、季節感が薄れつつありますが、やはり季節の花がいいですね。自然が生み出すものにはやはり「旬」があり、なんとも言えぬ元気と美しさがあると思います。

◆なるほど、旬の花ですね。

本日はどうもありがとうございました。これからも素敵な花をお願ひ致します。

承知しました。誌面に登場させて頂き、ありがとうございました。



目黒営業所の店頭で綺麗なバラを持って頂いての撮影。はにかまれる様子が人柄を表していた。

梅窓院墓苑代行について

昨年度の墓苑部は墓苑代行の申込みがとても多い年になりました。今までは遠方の方、お身体具合などの理由でのご依頼がほとんどでしたが、コロナ禍の影響でお参りに行くこと自体を控えるお宅が増えたからでしょう。とはいえ、代参をお願いたしたもののよくわからない、という方のために代参のご案内をさせて頂きます。

草むしり、墓石洗いをした上での代参の場合、代参のみの場合などご希望を伺った上で対応させて頂いております(草むしりは季節によって料金異なります)。お参りの際はお申込みされた方のお気持ちに添うよう、心を込めて手を合わせております。私共にも手を合わせる仏様がおりますので、同じ気持ちでお墓を洗い、草むしりをしております。

安心して墓参できる時まで私共にご用命下さい。(墓苑部一同)



代参でお線香を供えている様子。



墓石洗いをしている様子。

代行作業内容	料金一覧
草むしり	2,200円～
墓石洗い	大きさ等に応じて 1,100円～ 5,500円
植木手入れ	1,100円～
代参	1,100円 + 線香・花代
その他	大きさ等に応じて個別対応

※詳細はお問い合わせ下さい。

墓苑事業部電話番号 03-3404-1230

青山俳壇

選者「ウエップ俳句通信」編集長

大崎 紀夫

◎特選

○ 杜甫の詩に望郷多し桐一葉

◎入選

○ 天上に父の気配や菊の酒

○ 桃のつゆ滴るほどに香り立ち

○ コスモスの匂い漂う夜きたる

○ かじりつきのどを潤す柿と梨

○ はや八年命日近き秋の宵

○ 図書館の前にて匂ふ金木犀

○ 一合で酒切りあげて栗ご飯

○ 鶏頭の花の硬さや触れてみて

○ 月まるしコロツケそばをたのみけり

○ 物置にひかる曲尺金木犀

◎ 選者詠

○ 巡礼が杖とめてゐる女郎花

大崎 紀夫

〔ウエップポイントアドバイス〕
「俳句は引き算の文芸」とよくいわれます。一句のなかでいろいろなことをいわず、詠むことを絞った方がよいという作り方です。つまり、何かを詠もうとするとき、イメージをひとつに絞る、そのイメージが鮮やかに読者に伝わるようにした方がよい、ということです。「理と知」の句が余り評価されないのは、イメージが乏しいせいかもしれません。今回の句は、「知」の句ですが、「桐一葉」の季語がよく効いているので、特選としました。

投句募集

今回は「冬の季語」でご自由にお詠み下さい。1月4日(月)を締切、令和3年3月発送の『春彼岸号』にて発表致します。郵送・FAX・メールのいずれかの方法で、ご応募下さい。尚、選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38
梅窓院「青山俳壇」投句募集係
FAX:03-3404-8436(青山文化村)
メール:bunkamura@baisouin.or.jp

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウエップ編集室
電話03-5368-1870

第八十一回

食は命なり

食養研究家
武鈴子

大根は、食べる胃ぐすり

お正月の七草に用いる大根の若芽を「すずしろ」、かぶを「すずな」といいますが、中国では大根を蘿蔔と呼んでいます。お味噌汁に入れる織切りの大根を、俗に「千六本」と呼ぶのは、織羅菊が語源だといわれています。

大根は古くから根菜として広く栽培されていて多くの品種があります。ヨーロッパでは、古代から薬用植物とされています。日本でも、風邪の発熱・咳止め・のどの痛み・二日酔い・打ち身・くじきに用い、干し葉は浴湯料として冷え性・神経痛に、種子は健胃・痰切り・咳止め・胆汁分泌の促進に用いられてきました。

消化がよく、いくら食べても食傷(食当たり)しないことから、未熟な俳優を「大根役者」と侮っているのは、どんな役をやらせても未熟なために当たったためしかないとのシャレで、大根の効能を讃えたものです。

おでん、風呂吹き、ブリ大根——と、冬のご馳走の主役ですが、江戸時代の料理に、「揚げだし大根」というのがあります。「揚げだし大根」は、大根の皮をむいて適当に切り、ごま油で揚げて、フタつきの器に入れ、上から大根おろし、万能ねぎの小口切りをのせ、醤油をかけて供するもの。また、ごま油で揚げて、生姜みそ、葱みそ、山椒みそ、唐辛子みそ、木の芽味噌などを好みで取り合わせる、とあります。

大根は「食べる胃ぐすり」ともいわれます。ご馳走には大根なますやおろしを添えて。

ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

皆様、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

墓苑部スタッフの最近ですが、コロナ禍もあり時差出勤しております。早い時間、遅い時間は書類の整理、日中はお客様の対応と時間活用に慣れてきました。私が以前勤務していた会社の友人のところは週2・3日リモートで勤務しているそうですが、書類などが手元に無いので未だに慣れないと嘆いていました。会社によってはフリーダイヤルで、かけた電話を在宅社員の携帯に転送させるそうで、驚くばかりです(私がどこで働いていたか興味のある方は直接聞いてくださいね、笑)。

私共のところでは墓苑のご案内はリモートではなかなか出来ないので常駐しておりますが、手続きなどでご来寺頂く回数を極力減らすよう努力しております。こんな時期ですが皆様からのご紹介お待ちしております。(墓苑部:森)

墓参される皆様へ

梅窓院では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、安全衛生対策を強化し、各所に除菌水の設置や換気の対応をしております。ご来寺された際、手指消毒にご利用下さい。

また、マスクのご持参・ご着用、咳エチケットなど可能な範囲にてご協力頂けると幸いです。

体調にご不安のある方はくれぐれもご無理なさらないようお願い致します。

大変恐縮ですが、どうぞご理解とご了承のほど、宜しくお願い致します。

お檀家さんに伺いました

令和2年 電話取材にて

「日常のすぐそばに」

私たちは普段からお墓参りをしていますが、命日だとかいう特別な目的はなく、墓参そのものが生活の一部になっています。

梅窓院の近くを通りがかった際、ついでに寄って行くこともありますし、「最近、お墓参りに行ってないね」と話して訪ねることもあります。

梅窓院は整備・清掃が行き届いており、誇れるお寺だと思っています。

梅窓院行事 中止について

梅窓院では、新型コロナウイルス感染症の終息宣言が出るまで、下記の催しを中止とさせていただきます。

- ◎仏教講座
- ◎念仏と法話の会
- ◎郡上物産展(春彼岸会)
- ◎彼岸寄席(春・秋彼岸会)
- ◎能楽奉納・写経会(開山忌)
- ◎音楽コンサート
- ◎芋煮会(十夜会)

公的機関より終息宣言が発表されましたら、催しを再開する予定でございます。



尚、大法要は梅窓院僧侶のみで厳修し、その様子をYouTubeにてライブ配信予定です。

最新情報は随時お知らせ致します。

令和3年 年間行事予定

※予定は変更になる場合がございます。ご了承下さい。

◆修正会	1月1日(金)
◆春彼岸会法要	3月20日(土)
◆はなまつり	4月3日(土)～8日(木)
◆大施餓鬼会法要	5月15日(土)
◆開山忌法要	6月12日(土)
◆盂蘭盆会法要	7月13日(火)
◆秋彼岸会法要	9月23日(木)
◆文化講演会	10月開催予定
◆十夜法要	11月20日(土)



発行 / 梅窓院
 発行日 / 令和3年1月1日
 発行人 / 中島 真成
 編集 / 青山文化村
 住所 / 〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38

電話 / 03-3404-8447
 F A X / 03-3404-8107
 ホームページ / <https://www.baisouin.or.jp/>
 E-Mail / jodo@baisouin.or.jp
 題字 / 中村康隆元浄土門主 総本山知恩院第八十六世門跡